

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）実施要領 】

| 改 正 後 | 現 行 | 備 考 |
|--|---|---|
| <p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>I C T 活用工事とは、施工プロセスの各段階（以下①～⑤）のうち、全てもしくは一部において I C T 施工技術を活用する工事である。</p> <p>※法面整形工（土工量1,000m3以上）の場合は、森林整備保全事業 I C T 活用工事（土工）の要領を参照</p> <p>① 3次元起工測量（法面整形工）</p> <p>② 【 省 略 】</p> <p>③ I C T 建設機械による施工（法面整形工）</p> <p>④～⑤ 【 省 略 】</p> <p>3. 【 省 略 】</p> <p>4. 対象工種</p> <p>I C T 活用工事の対象工種は、「森林整備保全事業工事工種体系」における次の工種とする。</p> <p>法面整形工（土工量1,000m3未満）</p> <p>5. 取組内容</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>受注者は、起工測量において、3次元測量データを取得するため、下記1）～8）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、施工現場の環境条件により、面的な計測のほか、管理断面及び変化点の計測による測量を選択しても I C T 活用工事とする。</p> <p>また、法面工の関連施工として I C T 土工が行われる場合、その起工測量データ及び施工用データを活用することができるものとし、I C T 活用とする。</p> <p>1）～8） 【 省 略 】</p> <p>②～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>法面工の施工管理において、I C T を活用して施工管理を実施する。</p> <p><出来形管理></p> <p>下記のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1）～7） 【 省 略 】</p> <p>8）施工履歴データを用いた出来型管理（土工）</p> <p>9）地上写真測量を用いた出来型管理（土工編）（案）（土工）</p> <p>10）その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>※法面整形工（土工量1,000m3未満）の場合</p> <p>なお、計測装置位置と計測対象箇所との隔離・位置関係により上記の I C T を用いた計測においては、精度確保が困難となる個所や繰り返し計測を行うことが必要とな</p> | <p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>I C T 活用工事とは、施工プロセスの各段階（以下①～⑤）のうち、全てもしくは一部において I C T 施工技術を活用する工事である。</p> <p>【 新 規 】</p> <p>① 3次元起工測量【 新 設 】</p> <p>② 【 省 略 】</p> <p>③ 該当無し</p> <p>④～⑤ 【 省 略 】</p> <p>3. 【 省 略 】</p> <p>4. 対象工種</p> <p>I C T 活用工事の対象工種は、「森林整備保全事業工事工種体系」における次の工種とする。</p> <p>法面整形工【 新 設 】</p> <p>5. 取組内容</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>受注者は、起工測量において、3次元測量データを取得するため、下記1）～8）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、施工現場の環境条件により、面的な計測のほか、管理断面及び変化点の計測による測量を選択しても I C T 活用工事とする。</p> <p>また、I C T 土工の起工測量データ及び施工用データを活用することができるものとし、I C T 活用とする。</p> <p>1）～8） 【 省 略 】</p> <p>②～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理</p> <p>法面工の施工管理において、I C T を活用して施工管理を実施する。</p> <p><出来形管理></p> <p>下記1）～8）のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1）～7） 【 省 略 】</p> <p>8）その他の3次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>9）【 新 設 】</p> <p>10）【 新 設 】</p> <p>【 新 設 】</p> <p>なお、計測装置位置と計測対象箇所との隔離・位置関係により1）～8）の I C T を用いた計測においては、精度確保が困難となる個所や繰り返し計測を行うことが必</p> | <p>土工量（1,000m3 以上・未満）により適用する要領が改正になったことから追記</p> <p>同上</p> <p>字句の追加</p> <p>実施要領の改正したことによる追記</p> <p>字句の修正</p> |

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）実施要領 】

| 改 正 後 | 現 行 | 備 考 |
|---|--|--|
| <p>る箇所等も想定される。当該箇所においては、施工段階における出来形計測結果が分かる写真・画像データ等と併用する等、他の計測技術による出来形管理を行っても良いものとし監督員と協議する。</p> <p>⑤ 【 省 略 】</p> <p>6. 【 省 略 】</p> <p>7. I C T 活用工事の導入における留意点</p> <p>7－1 ～ 7－2 【 省 略 】</p> <p>発注者は、発注に際して従来通り積算を行い、発注するものとする。ただし、契約後の協議において受注者からの提案により I C T 活用工事を実施する場合、別紙 1－④の「森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領」に基づき設計変更を行うものとする。</p> <p>受注者が、3 次元起工測量及び 3 次元設計データ作成を行った場合、発注者は、3 次元起工測量経費及び 3 次元設計データ作成経費についての見積り提出を求め、設計変更時に計上するものとする。</p> <p>8. 【 省 略 】</p> <p>9. I C T 活用工事における工事完成図書の電子納品について</p> <p>3 次元出来形管理等の施工管理及び 3 次元データの納品については、林野庁が策定した各要領に準拠するとともに、富山県電子納品運用ガイドラインによるものとする。</p> <p>1 0. 【 省 略 】</p> <p>1 1. 特記仕様書への明示例</p> <p>1 【 省 略 】</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、森林整備保全事業 I C T 活用工事(法面工)実施要領（令和 5 年 8 月 削除）に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林保全事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3～5 【 省 略 】</p> <p>1 2. 【 省 略 】</p> <p>附則</p> <p>この要領は、令和 5 年 8 月 1 5 日以降に作成する設計書から適用する。</p> | <p>要となる箇所等も想定される。当該箇所においては、施工段階における出来形計測結果が分かる写真・画像データ等と併用する等、他の計測技術による出来形管理を行っても良いものとし監督員と協議する。</p> <p>⑤ 【 省 略 】</p> <p>6. 【 省 略 】</p> <p>7. I C T 活用工事の導入における留意点</p> <p>7－1 ～ 7－2 【 省 略 】</p> <p>7－3 工事費の積算</p> <p>発注者は、発注に際して従来通り積算を行い、発注するものとする。ただし、契約後の協議において受注者からの提案により I C T 活用工事を実施する場合、別紙 1－④の「<u>I C T 活用工事（法面工）積算要領</u>」に基づき設計変更を行うものとする。</p> <p>受注者が、3 次元起工測量及び 3 次元設計データ作成を行った場合、発注者は、3 次元起工測量経費及び 3 次元設計データ作成経費についての見積り提出を求め、設計変更時に計上するものとする。</p> <p>8. 【 省 略 】</p> <p>9. I C T 活用工事における工事完成図書の電子納品について</p> <p>3 次元出来形管理等の施工管理及び 3 次元データの納品については、<u>国土交通省</u>が策定した各要領に準拠するとともに、富山県電子納品運用ガイドラインによるものとする。</p> <p>1 0. 【 省 略 】</p> <p>1 1. 特記仕様書への明示例</p> <p>1 【 省 略 】</p> <p>2 I C T 活用工事の実施にあたっては、<u>I C T 活用工事（法面工）実施要領（令和 4 年 10 月 富山県農林水産部）</u>に基づくものとする。この実施要領は、富山県のホームページの『富山県森林保全事業における I C T 活用工事の施行について』から入手できる。</p> <p>3～5 【 省 略 】</p> <p>1 2. 【 省 略 】</p> <p><u>【 新 設 】</u></p> | <p>字句の修正</p> <p>誤記の修正</p> <p>字句の修正</p> <p>適用日の追加</p> |